

ブナセンターに行ってみよう!



只見の自然を知りたいなら ブナと川のミュージアムへ!!

只見町ブナセンターは平成19年度にブナを核とした地域づくりを目指すため設立され、自然環境の保全と野生生物の保護活動や自然環境の調査研究活動などを行ってきました。また、調査研究をする中で集めた資料や情報は付属の博物館である「ブナと川のミュージアム」で展示、解説を行ってきました。

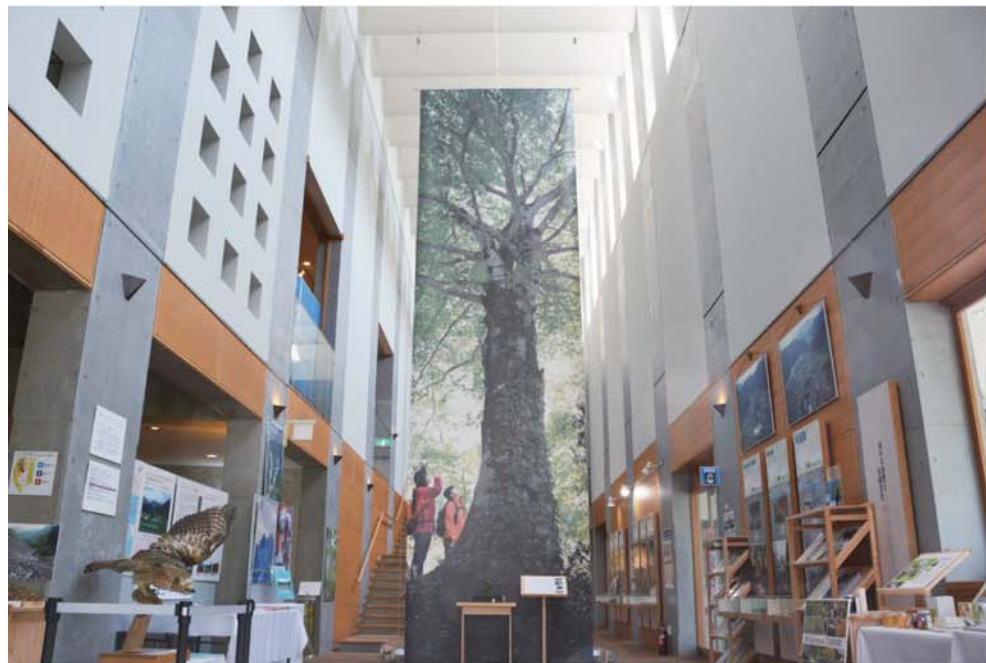
このブナと川のミュージアムは、只見の自然が模型などで再現され、只見町に生息している生き物の標本・剥製なども数多く展示されているので、いつ訪れても只見の豊かな自然環境について学ぶことができる施設となっています。また、昨年登録された只見ユネスコエコパークについての展示もあり、ユネスコエコパークについて詳しく学ぶこともできます。ブナと川のミュージアム

では常設展示のほか年に4回の企画展も開催しており、企画展は写真入りの解説パネルや標本などの実物展示を行っています。

ブナセンターのホームページから見る事ができるブログでは、只見町の自然の様子や動植物の写真、自然観察会の様子などを知ることができます。



▲施設では只見の自然の映像作品も見れます



ブナセンターでは、今まで行ってきた企画展の解説パネルを書籍化した「企画展解説シリーズ」と、只見の豊かな自然環境についてテーマごとにまとめた「只見町フィールドガイド」を刊行し1冊500円で販売しています。
 フィールドガイドは只見を歩くには非常に便利な小冊子です。

平成22年度からは只見町ブナセンターの事務局をブナと川のミュージアムに移し、町民の皆さんや来館者の皆さんのより一層身近な施設となるため「只見町ブナセンター友の会」を設立しました。友の会の会員になると入館料が無料になるほか、イベント情報などが掲載されたブナセンターだよりが郵送されますので興味をお持ちの方はぜひブナセンターまでお問い合わせください。

ただみ・ブナと川のミュージアム

- 開館時間 午前9時～午後5時まで
(最終受付は午後4時まで)
- 休館日 火曜日(祝祭日の場合は翌平日)
年末年始
- 入館料 大人300円 小人200円
- ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>
- 問い合わせ ☎0241-72-8355

ブナセンターでは今年も様々な企画展や自然観察会を開催します。6月以降に開催予定のブナセンター講座や自然観察会、企画展の内容は下記のとおりです。自然観察会にはガイドがつきますのでぜひご参加ください。

詳しい内容については、時期が近くなりましたらブナセンターのホームページなどでお知らせします。



▲好評につき6月7日まで会期が延びた企画展
只見の野鳥とその生態について

6月20日(土)	■ブナセンター講座 奥会津の地質にみる 日本列島の成り立ち	講 師:山元 孝広 先生 (産業技術総合研究所)
6月21日(日)	■自然観察会 只見の地質を観察しよう	観察地:塩ノ岐または黒谷を予定 講 師:山元 孝広 先生 (産業技術総合研究所)
6月～9月	■企画展 只見町のブナの森	
7月25日(土)	■写真教室 ヤマユリの咲く布沢を撮る!	講 師:猪又 かじ子 先生 開催地:布沢集落
8月 1日(土)	■ブナセンター講座 気候変動によって雪国の森はどのように 変わってゆくのか?	講 師:中静 透 先生(東北大学)
8月 2日(日)	■自然観察会 夏のブナ林を歩く!	観察地:只見沢
10月～11月	■企画展 昔の写真から見た只見町	
10月25日(日)	■ブナセンター講座 ニセアカシアの生態と管理	講 師:崎尾 均 先生(新潟大学) 現地研修も含め、外来種ニセアカシアの 脅威についてお話していただきます。
秋季予定	■自然観察会 秋のブナ林を歩く!	観察地:未定
12月～2月半ば	■企画展 只見町の生物多様性を考える	
12月19日(土)	■ブナセンター講座 自然の恵みの活かし方 -今までもユネスコエコパーク登録後も-	講 師:松田 裕之 先生 (横浜国立大学)
3月～5月	■企画展 春植物の生活史	
3月13日(日)	■ブナセンター講座 葉と花の戦略と絶滅危惧種の保全	講 師:鷺谷 いづみ 先生 (中央大学)
冬季予定	■自然観察会 冬のブナ林を歩く!	観察地:未定

春の自然観察会

ここでは、ゴールデンウィーク期間中に行った2つの自然観察会の様子をご皆さんにご紹介します。5月の自然観察会は両日とも天候に恵まれ、昨年の大雪で雪どけが遅かったことから、残雪と春の到来を楽しむことができました。



▲黒谷川流域での春植物を観察しました

5月2日(土) 「春の植物を愛でる！」

雪が多かったため、観察場所に向かう林道にも雪が残っていましたが、当日は恵まれた天候の中、観察会を行うことができました。

黒谷川流域にてフクジュソウの群生地を観察しましたが、今年は雪解けが遅かったことがさいわいして昨年より多くの場所でフクジュソウやカタクリ、キクザキイチゲを見ることができました。その後は場所を移動してユビソヤナギや雪食地形も観察し町内外から参加した23名の方は只見の春を感じていました。



▲残雪と新緑のブナ林を楽しめました

5月3日(日) 「春のブナ林を歩く！」

「癒しの森」で行ったブナ林の観察会には、今年は52名と大勢の方に参加いただきました。林内にはたくさんの雪が残っていましたが、ブナはすでに開葉しており、木によっては鈴なりの雄花をつけていました。例年同様に尾根沿いではオオイワウチワが開花して可憐な姿を見ることができました。また、雪の下から顔を出した青々としたエゾユズリハなどの常緑樹、交流広場に横たわる朽ちた国界の大ブナなども見られ、只見の自然をおおいに感じる観察会となりました。

さまざまな形で只見の自然を感じ学べるブナセンターへ皆さんぜひお越しください!